

山本太郎代表の発言（1）

「法律も解からずに法律を盾に取るの間違ってますよ」

「あの勉強してもらっていいですか？そちらの方」

「勉強もせずに政治活動をするってどういうおつもりですか？」

「ニッポンの法律を理解した上でニホンで政治活動やってもらっていいですかー。
すいません。ニッポン何とか党のみなさん」

[問題点]

まずこれらは、事前運動の現場を押さえられた事に対して、自身の公職選挙法違反の事実から論点をとにかく逸らそうとしている言動である。

さらに道路交通法は第 77 条だけ守れば良いと言うものではない。歩道と車道の間には括りつけられた多数の違法設置物は倒れると非常に危険であり違法です。

山本太郎代表の発言（2）

「差別主義者はカエレえ！」

「差別主義者の発言を、仕切らないんですかこれ」

[問題点]

我々のどのような発言を受けてこのように述べたかは不明。

相手を独断で差別主義者と定義づけ、その為の言論弾圧を警察の指揮者に対して教唆する。少なくとも法律を知ったうえで政治活動をしていると嘯く山本代表が行った言動がこれである。

山本太郎代表の発言（3）

「1 議席でも取ってから言ったらどうだ？ そういう話は」

「国政政党として認められてから言う話じゃないのかあ？」

「『でっかい事言って』ってえ。それぐらいの信任を得てから物を言えよ」

「ちょっと待てえ、選挙にはそっちも出てたのに、票集められなかったじゃないかよ。

何言ってんだあ！」

「あんたらのゆってる事があ、あんたらのゆってる事が響かなかった結果、議席も生まれてないだろー？」